

春遠からじ!

としょえもん

学校図書館サポートだより 第4号(通巻8号)



学校図書館の充実へ向けて

八王子市教育センター 統括指導主事
蔵重 佳治

学校図書館サポート事業がスタートして二年が経とうとしています。その間47校を重点校に指定し、巡回指導をして参りました。この重点校における学校図書館の環境につきましては、書架の整理や配置、学校図書館入り口のディスプレイなど、読書しやすい環境が整えられたことと共に、読書指導員やボランティアの方々の読み聞かせや本の修復作業など、技術面でのサポートもすることができました。今年度の学校図書館サポート事業に、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

また、今年度7月に始めました学校図書館の蔵書のデータベース化にご協力いただきありがとうございました。作業の方も順調に進み、残すところあと数校となっております。来年度以降、学校図書館の検索システムの稼働に伴って、各学校におかれましても、学校図書館の活用方法の見直しを是非行っていただきたいと思ひます。

学校図書館の活用については、学習指導要領にも「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童・生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること」と書かれています。来年度の教育課程を作成する今の時期、読書活動を充実させるための学校図書館の活用方法や教職員や読書指導員・ボランティアの方々の活動内容等、年間指導計画の中に具体的に加えていただきたいと思ひます。そして、市内小中学校の学校図書館が、児童・生徒に対して、

児童・生徒が、好きな本を選び、静かに読書したり、様々な本と出会うことで、読書の楽しさを味わったりする場であること。

授業で学習したことを確かめ、広げ、深める、資料を読み取り、自分の考えをまとめて発表するなど、児童・生徒の主体的な学習活動を支援する場であること。

など、学校図書館が有効に機能していくことを願っておりますし、学校図書館サポート事業を通じて支援して参りたいと考えております。

是非、来年度の重点校の募集につきましても、積極的に応募いただきたいと思ひます。

23年度の活動内容

- 巡回支援：学校図書館活用重点校 24校を毎月訪問し、書架の配置や図書の並べ替え、修理・ディスプレイ・読み聞かせなどへの助言。(2月末：訪問校数のべ253校、スタッフ派遣人数のべ566人)
- 研修会：司書教諭研修2回、読書指導員研修3回、夏休みのパワーアップ研修(教員)1日、出前講習(ニュータウン方面校対象)1回、ステップアップ研修1回を実施。
- 公共図書館との連携：八王子市中央図書館との連絡会を毎月開催し、公共図書館による学校図書館支援への協力をした。
- 調査活動：図書ボランティア活動調査を実施。(回答は学校、読書指導員・図書ボランティア)
- 相談：学校図書館活用重点校以外の学校の要請に応じ訪問(4件)、相談日の設置(年間10日、4件の相談に対応)、電話問い合わせ、他。
- 広報活動：『としょえもん』発行(年間4回)、八王子市のホームページの中に学校図書館担当のページを作成。「図書館まつり」での重点校の図書館の写真展示など。

第3回 学校図書館読書指導員研修会

平成24年1月18日(水) 八王子市教育センターにて

今回は右記の4校の読書指導員や図書ボランティアの皆さんに、各学校で今年度実践した活動の具体的な事例について発表していただきました。当日の参加者は87名。校長先生や副校長先生・司書教諭の先生が参加された学校もありました。

事例発表の後には質疑応答も活発に行なわれ、11月にお願ひした「ボランティア活動調査」のご回答についても話題にのぼりました。情報交換・交流面からも有意義な研修会となりました。

終了後のアンケートでは「各学校の意欲や課題等参考になり、モチベーションを上げる研修会だった」「他校での悩みや問題点、また解決方法を知ることができた」「学校との連携をどうするか、コミュニケーションをとるのが本当に難しい」「ボランティアさんの生の声が聞け、学校のあり方を考え直してる」などの感想が寄せられました。



写真を交えながら活動内容や図書館の様子を発表

【第十小学校】

学校の教育活動「『ことばの森』プロジェクト」を支援。学校と話し合いを重ねながら、子どもたちが遠くから見ても、図書館の存在がわかるようにと、大きな壁面装飾を製作した。

【上巻分方小学校】

学校図書館活用重点校になったことや、データベース化を機に、夏休みを利用して、児童、教員、保護者との協同で図書館の改造を実施。子どもたちが本を探しやすく、戻しやすい図書館を目指して活動中です。

【高嶺小学校】

司書教諭の呼びかけで発足したボランティア。先生と連携し、活動内容・体制・シフトなどの改善を図りながら、子どもたちが足を運ぶ明るい図書館づくりを支援している。

【楢原中学校】

P T A組織の中の委員会活動の一つ「図書整備委員会」として位置づけ、ひとり一役として活動している。週2回昼休みの間、図書館の開閉・見守り・清掃を行なった。



各学校の取り組みに、熱心に耳をかたむける皆さん

出前講習

12月1日(木)、南大沢中学校を会場に、ニュータウン方面の重点校以外の小中学校の読書指導員・図書ボランティアさんを対象に出前講習を行いました。内容は修理講習。講師には南大沢図書館の2名の職員の方にも応援をいただきました。当日は、7校、20名の読書指導員・図書ボランティアさんが参加。図書の基本的な修理方法やブックカバーかけの方法などについて体験していただきました。教育センターでの研修に参加しにくい地区を対象に、今年度初めて企画しましたが、参加

された皆さんからは、「近い場所での研修は参加しやすく、うれしい」はじめての修理でしたが、基本から丁寧に教えていただき、とても勉強になりました」「個別に対応していただき、分かりやすかった」などのお声をいただきました。

今後も研修の充実
に努めていきます。

はじめての参加
者も楽しく実習



学校図書館



活用重点校紹介～その4～

平成23年度重点校24校の図書館を順番にご紹介していきます。今回は最終回の6校です。



高嶺小
図書委員でクリスマスコーナーを装飾中。(左)
中休みにボランティアさんがリクエストにこたえて読み聞かせ。(下)

鏡水小
図書館の本はどう並んでいるのかな?(右)
ボランティアさんが紹介する本のコーナーを作った。(下)



下柚木小
高学年向けの読み聞かせ講習会。本やリストの紹介。大勢の方が参加してくれました。(左下)
図書館整備進行中。絵本に目印シールを貼り付けています。(下)

南大沢中
ボランティアさんがポップ作り挑戦中。面だした本と並べてたくさんのお本が紹介されました。(下)
寄贈図書には手書きでラベル貼り。(右下)



松が谷小
入り口すぐの展示棚。ポップを添えればすぐに貸し出し中に。(左)
修理講習。(右)



恩方第二小
ボランティアさん手作りの掲示物です。かまきりの本はどこにあるかな?(左)
人気のシリーズ本や絵本を集めたくつろぎの畳スペース。(右)

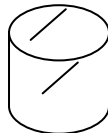




学校図書館ワンポイントアドバイス 4 : ポップ (POP) スタンド



身近な材料で
作ってみよう!



今回は POP について紹介しました。作った POP を本と一緒に展示してみましょう。学校や身の回りにある材料を使って、かわいい POP スタンドを作ることができます。

左のスタンドは、印刷機のマスター芯を利用したものです。このようなしっかりした筒を、高さ 4, 5 センチに糸鋸でカットして、切り口には斜めに切り込みをいれます。(カードを挟みこむため)

このままでも使えますが、余った包装紙や、クラフトテープ等で周りくるむ等工夫もできます。かわいいスタンドと手作り POP で本の紹介をしてみませんか。



ミニ情報

大阪国際児童文学館『こどもの本 いま・むかし』デジタル・ミュージアムでタイムスリップ

<http://www.iiclo.or.jp/>

(としょえものの訪問インタビュー)

上叡分方小学校・島田 ^{しまだ} 文江 ^{ふみえ} 副校長先生



学校とボランティアを結ぶ

上叡分方小の図書ボランティアの活動状況を教えてください。

3 年程前から軌道に乗ってきましたね。以前は名前だけ登録されている方も少なくなかったのですが、活動への意思確認の働きかけから始めました。同時に関心をもっといただくために、活動の様子をピンポイントでお知らせもしました。この夏休みには児童や教職員との協働も経験して、外からも「目に見える」活動になってきて感謝しきりです。

連絡・連携の要は副校長先生とお見受けしますが、大切なことは何ですか？

ボランティアの方の「～してみたい」気持ちを大事にすることですね。最初の要望が「ハタキが欲しい」でした。今では本に埃がたまる暇もありませんので、ハタキは開店休業ですけどね(笑)。連絡ということでは、忙しい司書教諭にはボランティアの活動を私から必ず伝えます。逆にボランティアの方々にも司書教諭の活動を伝えるようにしています。

教育活動にボランティアがかかわることは、どんな意義があるとお考えですか？

副校長の仕事は人とのかかわりだと思っています。特に外部の人とのかかわりは大事にしたいですね。学校の内からは出てきにくい保護者からの視点が見えてきます。作業の後のちょっとしたお茶の会を欠かさないようにしていますが、そういうときにすばらしいアイデアが飛び出したり、保護者の素顔がチラと見えたりするように思います。

ボランティアの方々との協働についての今後の抱負や課題をお聞かせください。

「してもらっただけでなく、いつかは自分もできることはしたい」と皆さんが思うような活動を目指したいですね。私が心がけているのは、「楽しいことは提案する」です。もちろん楽しいことばかりじゃないことは承知していますが、楽しさなくて自発性は出てこないんじゃないでしょうか。こんなことを、私は皆さんから教わったように思います。

取材中にも内線電話が何本か。席の温まる暇もない多忙な副校長先生、貴重なお時間をありがとうございました。
(平成 24 年 1 月 27 日取材)

平成 24 年第 4 号
3 月 1 日発行
(通巻 8 号)

八王子市教育センター 学校図書館担当

連絡先 電話 042-664-1135 / FAX 042-662-2988

住所 八王子市散田町 2-37-1

教育センター アドレス: b300700@city.hachioji.tokyo.jp